

令和2年度事業活動の概況

令和2年度事業は新型コロナウイルスの影響を受け、多くの事業に多大な影響を受けました。

一つ目は、理事会、各委員会はWeb参加による開催となり、今までに体験したことのない会議形式となりましたが、役員、委員会参加者の協力と事務局の運営により大きな支障が生じることなく運営することができました。

二つ目は、令和2年10月22日・23日に開催が予定されていましたが第24回日本医業経営コンサルタント学会 福岡大会及び今期企画されていましたが地域研究交流会は全てを中止することとなり、協会活動に大きな影響を受けました。

また、今期は協会創立30周年を迎えたため、30周年記念式典の開催も企画、検討が進んでいましたが、やむなく中止を決定せざるを得ませんでした。

ただし、創立30周年を記念した創立30周年記念誌は「コロナ禍をこえて」と題して作成いたしました。

厚生労働大臣及び多くの医療関連団体の皆様から祝辞をいただきました。

また、特別寄稿として、鴨下衆議院議員、武見参議院議員、橋本衆議院議員からも寄稿をいただき、当協会活動に多くの関連団体等から注目いただいていることを実感いたしました。

記念誌は3,600部作成し、会員、厚生労働省、関連団体等に配布すると同時に当協会ホームページにも掲載いたしました。

三つ目の取組みとして、コロナ禍での活動は暫く続くものと予想され、当協会の主たる事業の一つである研修事業を根本的に見直さなければならなくなりました。集合形式での研修開催が行えなくなった中で、新たな研修方法を構築する必要に迫られました。同時に会員の退会理由に多く挙げられている「受講する時間が無い」「研修費用が負担となる」といった課題も同時に解決するために、自宅等でスマホ・タブレットを使用して受講できるオンデマンド型研修の導入を図りました。集合研修にかかる会場費等の軽減を考慮し、動画を無制限に視聴ができ、費用は年間12,000円で受講可能なサブスクリプション方式を令和3年4月1日から導入いたしました。

事前申し込み段階で700名以上の会員からの申し込みがあり、新たな研修制度の開始に踏み出すこととなります。

コロナ禍の影響を受けての変更となりましたが、新たな研修方式が入会后3年で研修時間100時間履修という課題をクリアすることができずに退会される会員が多くいる現状の改善に繋がることを確信しています。

四つ目として、運営課題の多い協会運営に関して、限られた時間の理事会で多くの課題一つ一つを深く審議することができない現状の改善も必要となり、新

たに「(拡大) 業務執行会議」を創設いたしました。

参加メンバーは協会会員から選出された理事 15 名と業務執行理事 5 名の 20 名で構成されます。理事会開催前の 2 時間を「(拡大) 業務執行会議」として開催することとして、令和 2 年 9 月 4 日に第 1 回を開催しました。

第 1 回目は、一次試験を合格しても二次試験を受験しない受験者が多く、協会会員への道を自ら閉ざしてしまう状況の打破が求められることから、その対策について議論を行いました。一次試験合格後、二次試験にチャレンジできる期限が 3 年間と定められている状況を、期限無しに変更することが必要との結論に達し、理事会で承認をいただき、平成 30 年度以降の一次試験合格者は、いつでも二次試験にチャレンジできることになりました。仕事等が一段落した時に二次試験に臨んでいただける方が多くなることを願います。

今後も協会の財務問題や会員多層化、試験制度の見直し等、「(拡大) 業務執行会議」で議論を深めなければならない課題は山積みとなっており、その重要性は益々高まっていくものと確信しています。

(公益目的事業)

I 資格認定事業

1 医業経営コンサルタントの資格認定（医業経営コンサルタント資格認定審査会）

良質の医療、介護等を不特定多数の者に提供するためには、健全な経営が不可欠である。そのためには病院、介護施設等の現状分析・改善提案・実施支援・顧問活動の業務を担える職業専門家を育成する必要があるため、講義形式の指定講座および試験（筆記試験、論文試験）を実施し、合格した者に「医業経営コンサルタント」の資格を認定する事業を実施する。

| 事業計画 | 主な行動指針 | 事業結果 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|--|--|----|------|----------|--|-----------------|------|---|------|----|------|----|----|----|-----|-----|-----|----|-----|----|-----|----|----|----|----|
| 医業経営コンサルタントの資格認定 | <p>①指定講座</p> <ul style="list-style-type: none">・テキスト・イーラーニングによる受講（自宅学習）とする。・テキスト・イーラーニングによる受講を一次試験の受験資格とする。・受講料は、テキスト・イーラーニングによる受講で50,000円とする。・再受験者（過去2年間の指定講座履修者）が最新の指定講座イーラーニングを希望した場合、5,000円（テキスト・イーラーニング配信データ代込）で販売し、指定講座履修の有効期限は延長されない取扱とする。 <p>②一次試験</p> <ul style="list-style-type: none">・会場：札幌、東京、名古屋、大阪、岡山、広島、高松、福岡、計8か所での実施とする。・試験日： 令和2年8月22日（土） 全国一斉に実施 | <p>①指定講座申込者 210名</p> <p>〔指定講座実施状況〕</p> <table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>受講者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>収録講義(東京)</td><td></td></tr><tr><td>イーラーニング 自主学习</td><td>210名</td></tr><tr><td>計</td><td>210名</td></tr></tbody></table> <p>講義収録時の受講者の参加については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。</p> <p>②一次試験出願者 208名</p> <p>〔一次試験実施状況〕</p> <table border="1"><thead><tr><th>会場</th><th>受験者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>札幌</td><td>6名</td></tr><tr><td>東京</td><td>87名</td></tr><tr><td>名古屋</td><td>11名</td></tr><tr><td>大阪</td><td>24名</td></tr><tr><td>岡山</td><td>20名</td></tr><tr><td>広島</td><td>8名</td></tr><tr><td>高松</td><td>2名</td></tr></tbody></table> | 区分 | 受講者数 | 収録講義(東京) | | イーラーニング 自主学习 | 210名 | 計 | 210名 | 会場 | 受験者数 | 札幌 | 6名 | 東京 | 87名 | 名古屋 | 11名 | 大阪 | 24名 | 岡山 | 20名 | 広島 | 8名 | 高松 | 2名 |
| 区分 | 受講者数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 収録講義(東京) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| イーラーニング 自主学习 | 210名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 210名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会場 | 受験者数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 札幌 | 6名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 東京 | 87名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 名古屋 | 11名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大阪 | 24名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 岡山 | 20名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 広島 | 8名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高松 | 2名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|-----|-------|
| 福 岡 | 21 名 |
| 計 | 179 名 |

〔一次試験結果〕

| 受験 | 合 格 | 不合格 | 合格率 |
|-------|-------|------|-------|
| 179 名 | 156 名 | 23 名 | 87.2% |

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、試験Ⅰ（小論文）は、当日の記述試験は行わず、試験会場に解答済みの解答用紙を持参し提出する体制をとった。

また、試験Ⅱと試験Ⅲ（マークシート）の試験時間は分割せずにまとめ、3時間40分に短縮して行った。いずれも採否は従来どおりに行った。

③二次試験

- 論文提出：
令和2年7月13日締切
令和3年1月8日締切

- 合否判定：

【令和2年7月提出】

第219回定例理事会（令和2年9月）に二次試験合格者の承認を求める。

【令和3年1月提出】

第223回定例理事会（令和3年2月）に二次試験合格者の承認を求める。

- ④医業経営コンサルタント一次試験のマークシート方式における問題形式および問題作成要領の見直しについて

③論文指導実施状況

- 令和2年6月10日 申込者6名
令和2年11月17、19日 申込者6名

| 提出 | 審査数 | 合格数 | 合格率 |
|-------|------|------|-------|
| R2年7月 | 33名 | 26名 | 78.8% |
| R3年1月 | 114名 | 97名 | 85.1% |
| 合計 | 147名 | 123名 | 83.7% |

〔二次試験審査結果〕

- 第222回定例理事会（令和3年1月15日）において、一次試験合格の有効期限を撤廃する規程改定が決議され、平成30年度（第28回）以降の一次試験合格者（第6期以降の医業経営実務講座全講座修了者を含む）は、有効期限なく二次試験の受験が可能となった。

- ④一次試験のマークシート方式における問題形式および「医業経営コンサルタント一次試験問題作成要領」の見直しについて検討を行う

| | | |
|--|--|-----------|
| | <p>て検討するため、一次試験（マークシート方式）問題作成検討小委員会を設置する。第 219 回定例理事会（令和 2 年 9 月）承認。</p> | <p>た。</p> |
|--|--|-----------|

2 医業経営管理能力検定（教育研修委員会）

| 事業計画 | 主な行動指針 | 事業結果 |
|--|--|---|
| <p>大学生等に医療および医業経営の基礎知識を習得させることにより、医業の現場において医業経営の実務の知識を活用して病医院の経営の健全化・安定化に寄与する者の育成を目的として実施する。</p> <p>更に医療サービス・医業経営管理等への関心を醸成させ、将来的には医業経営コンサルタントとして活躍できるような、医業経営に携わる人材育成を図る。</p> | <p>認定した指定校において医業経営管理能力検定試験を実施するほか、新たな指定校拡大のため大学訪問を行い、広く検定制度普及のための方策等を検討する。</p> | <p>指定校 5 大学において、令和 2 年 11 月 28 日（土）に検定を実施。受験者合計 143 名、内 108 名合格（合格率 75.5%）。</p> <p>[指定校一覧]</p> <p>広島国際大学（広島県） 川崎医療福祉大学（岡山県） 日本福祉大学（愛知県） 保健医療経営大学（福岡県） 東京医療保健大学（東京都）</p> |

II 講座・セミナーによる人材育成事業

1. 継続研修（教育研修委員会）

病医院、介護施設等の経営および運営に関する知識のみでなく、医療法をはじめとする医療関連法規や医療保険制度等についての幅広い知識が必要である。

また、少子高齢社会における医療・介護等を取り巻く環境の変化は著しく、日々の研鑽による医業経営コンサルタントの資質の涵養と職務能力の向上のための継続研修事業を実施する。

| 事業計画 | 主な行動指針 | 事業結果 |
|--|---|--|
| <p>(1) 研修内容の充実を図ると共に、本部・支部を含めた研修全体のさらなる体系化を推進する。</p> | <p>①「継続研修実施にあたっての運用方針」に則り、継続研修事業を遂行する。</p> <p>②会員がファーストステージからセカンドステージまで、少なくとも2～3年をかけて受講できる配分で各講座の実施を図る。</p> <p>③コンサルティング業務に活用できる実用的な研修の充実を図る。</p> <p>④会員の受講機会および履修時間の加算機会を増強することにより、登録更新を促進する。</p> <p>⑤研修に関する情報提供を行う。</p> | <p>①「令和2年度 継続研修実施にあたっての運用方針」を会員、支部および継続研修委託団体に提示した。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オンライン研修実施にあたっての方針を整え、研修事業の継続に努めた。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症拡大の影響により予定していた集合型研修はすべて中止したため、個人研修用動画教材として16時間分の講義収録を行った。</p> <p>③サードステージとして、少人数制短期集中型の応用実務研修を実施した。</p> <p>④他の常任委員会において企画された研修および履修認定学会等を履修時間対象として承認した。</p> <p>⑤ホームページ、メールマガジンおよび機関誌 JAHMC 等を活用し、研修情報の提供に努めた。また、研修ポータルサイトを新設した。(令和3年度オープン)</p> |
| <p>(2) 継続研修体系に基づいた講師の選定、育成、講座の構</p> | <p>研修の講師の確保を図る。</p> | <p>様々な分野からの講師選定を図り、研修を実施した。</p> |

| | | |
|---|---|--|
| <p>築を図る。</p> | | |
| <p>(3) 継続研修事業を推進する。</p> <p>① 継続研修体系の見直しを目的とし、さらなる検討を深める。</p> <p>② 現行の継続研修体系に則り、継続研修を充実する（国内視察研修等を含む）。</p> <p>③ 令和2年度重点施策に係るコンサルティング業務に活用できる実用的な研修を実施する。</p> | <p>教育研修委員会において、体系の見直しを図る。</p> <p>当協会の資格制度や組織のあり方等について進められている検討状況に則し、会員のニーズおよび現況に見合う内容とすべく、研修事業の円滑な運営に努める。</p> <p>① 新入会員研修 （東京、大阪）</p> <p>② 集中研修 ③ 継続研修 ④ 国内視察研修</p> <p>① 他の常任委員会が企画する研修を含め、特定のテーマに沿った研修の実施を承認し、促進する。</p> <p>② 会員のニーズに基づく応用実務研修（サードステージ）のカリキュラムを再検討し、実施する。</p> | <p>1年間を通じて継続研修制度を見直し、令和3年度4月1日より新たな研修体系やカリキュラムを刷新、個人研修定額制の導入等の開始を検討した。</p> <p>① 4時間 ・ 講義動画オンデマンド配信 （配信期間：7/1～R3.3/31） 142名受講</p> <p>②③④ 社会情勢を鑑み、令和2年度は開催を見合わせた。</p> <p>① 他の常任委員会が企画した次の研修を承認した。 ・ 調査研究・提言委員会歯科経営専門分科会が企画した「歯科経営専修講座」（東京・ライブ配信／計20時間） ・ 広報委員会が企画した HOSPEX Japan2020 における医業経営セミナー（東京／2時間） ・ 国際委員会が企画した「医業経営セミナー」（東京・ライブ配信／3時間）</p> <p>② 応用実務研修の実施 ・ 問題解決ファシリテーション専修コース（計20時間）11/19-21（ホスピタルプラザビル）5名、研修</p> |

| | | |
|---|--|--|
| <p>④ I Tの活用を深め、個人研修（動画配信）の充実を図るとともに、本部研修の支部への同時配信、特別セミナー等の実施により、全国の会員の更なる利便性および負担軽減を推進し、継続研修の受講機会の拡大に努める。</p> | <p>会員が、時間・場所を制約されずに受講できる機会を増やすため、動画配信による個人研修教材の増加を図る。</p> | <p>後の修了レポート提出 4名（履修時間 10 時間加算）</p> <p>新たな動画配信教材（各 2 時間）を販売した。</p> <p>5 月： 9 教材（計18時間） 7 月： 3 教材（計 6 時間） 8 月： 1 教材（計 2 時間） 9 月： 3 教材（計 6 時間） 12月：10教材（計20時間）</p> <p>延 103 教材（206 時間分）の教材を販売した。</p> <p>動画配信教材の年間受講件数：2,985 件</p> |
| <p>⑤支部および複数支部合同・賛助会員共催の継続研修事業を推進する。あわせて、研修用DVDを制作する。</p> | <p>東京における集中研修の講義を収録し、DVDとして支部に頒布することにより、集合研修形式で支部ビデオ研修が実施され、支部会員の受講機会を増加するとともに、支部における研修実施の負担を軽減する。</p> | <p>集中研修が開催中止となり令和 2 年度は新規ビデオ研修教材の作成ができなかったため、前年度に配布した 10 教材（各 2 時間、計 20 時間）のみを使用可能教材とした。46 支部中 9 支部が延 48 時間の支部ビデオ研修を実施した。</p> |
| <p>⑥より多くの会員の研修参加を促すための効果的な方策を図る。</p> | <p>研修の開催方式を見直し、受講しやすい環境を整備する。</p> | <p>集合型研修だけでなく、ライブ配信やオンデマンド配信等、Web 開催を広く認め、受講しやすい料金設定を行った。</p> |
| <p>⑦継続研修の一部を、医業経営セミナーとして一般の人にも公開し、医業経営にかかる情報や知識の普及を推進する。</p> | <p>医業経営に関する啓蒙活動となり、また、当協会の認知度向上をめざす。</p> | <p>介護報酬改定セミナーの動画教材（3 時間）を作成し各支部に配布。支部ごとのセミナー等開催の支援を行った。</p> |

2. 支部主催研修および支部合同研修（地区協議会）

支部主催研修および支部合同研修の開催を推進する。

地方の特性を活かして、独自の視点から医療、介護等に関する社会動向の考察や医業経営に関する知識の普及を推進する。

| 事業計画 | 主な行動指針 | 事業結果 |
|---|--|---|
| <p>【支部・地区協議会事業計画】</p> <p>(1) より良い地域社会の発展に貢献するため、会員および地域の医療・保健・介護・福祉に携わる関係者を対象とした医業経営セミナーを実施する。</p> <p>(2) 医業経営コンサルタントの水準の確保と資質の向上を図るため、継続研修・ビデオ研修・国内視察研修等を実施する。</p> | <p>医業経営コンサルタントの水準の確保と資質の向上を図る。</p> <p>より良い地域社会の発展に貢献するため、地域の医療・保健・介護・福祉に係わる関係者を対象とした医業経営セミナーを実施する。</p> | <p>① 9 支部が、延 48 時間の支部ビデオ研修を実施した。</p> <p>② 15 支部が、延 81 時間の支部通常研修を実施した。</p> |

3. 一般公開医業経営実務講座（教育研修委員会）

医業経営の仕組み、収益管理、組織管理、患者管理、財務管理から、物品管理、環境管理、情報管理まで体系的に、医業経営コンサルタントを中心とした講師から実践的な知識を学ぶことのできる本講座を、継続して開催する。さらに多くの関係者に広められる効果的な周知を図る。

また、全 12 回の講座を受講した者が、医業経営コンサルタントへの道を志し、医業経営の健全化・安定化を図る人材となることを目指す。

| 事業計画 | 主な行動指針 | 事業結果 |
|--|--|--|
| <p>(1) 目的</p> <p>当協会令和 2 年度基本方針第 4 項に定める医業経営の教育研修事業を行い医療・保健・介護・福祉に関連する人材の育成を図ること、また公益社団法人の公益目的事業を維持するために実施する。</p> <p>(2) 対象</p> <p>事務部門、看護部門、メディカルの方など、医療機関に勤務されている方、医療機関に関わっており、医業経営に興味のある方など</p> | <p>① 医療機関に勤務する者および当協会会員の医業経営実務に係る知識の修得の場とする。</p> <p>② 受講対象者に合致したカリキュラムを策定、講師の選定を行い実施する。</p> <p>今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、自宅等で受講できるようなオ</p> | <p>① 医療の質の向上と効率化をより促進することができるよう、幅広い職種の医療機関等の関係者が学べる場とし、さらには「認定登録 医業経営コンサルタント」への道とする。</p> <p>② 講座実施結果</p> <p>・ 第 8 期</p> <p>令和 2 年 4 月～令和 2 年 9 月</p> <p>参加者実数：70 名</p> <p>(同一人の重複を数えない)</p> <p>延受講講座数：548 講座</p> |

| | | |
|--|---|--|
| <p>を対象とする。</p> <p>(3) 日程 令和2年10月より12回 (毎月土曜日)、1講座2時 間を1日3講座に亘り実施 する。</p> | <p>ンラインサービスを提供す る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンデマンド配信 講座を収録し、後日収録動画 をインターネット上で配信 し、受講可能なサービスを実 施する。 ・ライブ配信 Zoomを使用したライブ配信 を実施する。 <p>③第9期(令和2年10月開講) は、第8期の実績を踏まえ、 内容の見直しを適宜実施 する。</p> | <p>(修了証発行講座数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第9期 令和2年10月～3年3月 参加者実数：42名 (同一人の重複を数えない) 延受講講座数：454講座 (修了証発行講座数) <p>③令和2年度 全12回36講座を修 了した受講者数：13名</p> |
|--|---|--|

Ⅲ 学会・研究会による人材育成事業

1 日本医業経営コンサルタント学会（学会・学術委員会）

| 事業計画 | 主な行動指針 | 事業結果 |
|---|--|--|
| <p>(1) 第 24 回日本医業経営コンサルタント学会福岡大会について、企画・運営・演題審査等を行う。企画・運営にあたり、開催地区に実行委員会を設置する。</p> <p>・日時：令和 2 年 10 月 22 日（木）、23 日（金）</p> <p>・会場：ホテルニューオータニ博多</p> <p>・テーマ：「脚下照顧」先進性と創造性とは</p> | <p>① 第 24 回日本医業経営コンサルタント学会福岡大会を開催する。</p> | <p>第 24 回日本医業経営コンサルタント学会福岡大会は、新型コロナウイルス感染拡大による社会情勢を踏まえ、開催を中止した。</p> <p>会員による一般演題発表は応募が開始されていたため、一般演題論文等を集めた記録集を作成した。</p> |
| <p>(2) 学会のフォーラム化を推進する。</p> | <p>② 日本医業経営コンサルタント学会の方向性および将来のあり方について検討する。</p> | <p>日本医業経営コンサルタント学会のあり方について継続的に審議を行った。</p> |
| <p>(3) 日本医業経営コンサルタント学会の将来の在り方を活用した学会運営を検討する。</p> | | |

2 地域研究交流会（学会・学術委員会）

| 事業計画 | 主な行動指針 | 事業結果 |
|---|---------------------|--|
| <p>全国 6 会場で地域研究交流会を開催し、講演、研究発表を通じて、地域の自治体関係者および医療・保健・介護・福祉関連団体との連携強化を図る。</p> <p>また、会員の資質の涵養と職務能力の向上を図る。</p> | <p>地域研究交流会の開催支援</p> | <p>令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催を中止した。</p> |

3 外部学会活動（学会・学術委員会・広報委員会）

| 事業計画 | 主な行動指針 | 事業結果 |
|--|---|------------------|
| <p>(1) 日本病院学会、全日本病院学会等医療関連団体の学会に参加し、講演等を行うこと</p> | <p>日本病院学会、全日本病院学会などの医療関連団体の学会に参加し、講演等を行う。</p> | <p>詳細は下記のとおり</p> |

| | | |
|---|---|------------------|
| <p>とで積極的に関係団体との連携を図る。</p> <p>(2) 国際モダンホスピタルショウ、HOSPEX Japan に参加し、良質な講演等を実施することで積極的に協会事業を周知させ、有効と考えられる各種関連団体との連携を強化する。</p> | <p>国際モダンホスピタルショウ、HOSPEX Japan、日本医療福祉設備学会において、ブース出展およびセミナーを行う。</p> | <p>詳細は下記のとおり</p> |
|---|---|------------------|

- (1) 第70回日本病院学会（栃木県総合文化センター／宇都宮東武ホテルグランデ）
 新型コロナウイルス感染拡大や政府の方針等を受け、開催中止となった。
 第62回全日本病院学会 in 岡山（岡山コンベンションセンター／岡山県医師会館）
 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和3年8月21日（土）・22日（日）に延期となった。
- (2) 国際モダンホスピタルショウ2020（令和2年7月1日（水）～3日（金））
 新型コロナウイルス感染拡大や政府の方針等を受け、開催中止となった。

HOSPEX Japan2020（令和2年11月11日（水）～13日（金））

- ①「医療環境の変化を見すえた、10年後の病院経営」【67名】
 小松 大介 氏（株式会社メディヴァ 取締役）
- ②「海外事例から学ぶ日本の行政・医療のデジタル化のゆくえ」【34名】
 司会：平沼 昌弘 氏（公益社団法人 日本ファシリティマネジメント協会 ヘルケア部会
 副部会長／社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院）
 演者：松見 隆子 氏（日本電気株式会社 デジタル・ガバメント推進本部 シニアエキスパート）
- ③「AI問診による医師等の働き方改革とCOVID-19対策」【37名】
 阿部 吉倫 氏（Ubie株式会社 共同代表・医師）
- ④「オンライン資格確認等システムへの参画と新しい医療サービスの提供」【45名】
 山下 護 氏（厚生労働省 保険局 医療介護連携政策課長）
- ⑤「自治体立病院、合併を機に経営改革」【37名】
 司会：宇田 淳 氏（滋慶医療科学大学大学院 教授）
 演者：前田 博教 氏（高知県立あき総合病院 院長）
 演者：八幡 健志 氏（株式会社日建設計 設計担当者）

*【 】内は参加者人数

第49回日本医療福祉設備学会（令和2年11月11日（水）～12日（木））
 新型コロナウイルス感染拡大や政府の方針等を受け、オンラインによる開催となった。

- ①共催セッション
 - ・「遠隔医療が切り開く未来、とその基盤」
 演者：近藤 博史 氏（鳥取大学医学部附属病院 医療情報部 鳥取大学 教授／
 一般社団法人日本遠隔医療学会 会長）
 - ・「コロナ禍におけるデータ利活用型集中治療と今後の展望」
 演者：高木 俊介 氏（横浜市立大学附属病院 集中治療部 部長／
 集中治療医学会 ad hoc 遠隔ICU委員会 委員長）

IV 調査研究・提言活動事業

1 調査研究（調査研究・提言委員会）

会員がより良いコンサルティングが行えるように、主にその活動を支援することを目的とし、以下の4つのテーマについて広く深く調査研究を行う。実施にあたっては、テーマごとに専門分科会を期間を定めて設置し、外部を含む有識者を委員に起用し確実に成果を上げる。

出版物の精査を行い、改訂や新規発行することで充実を図り、協会の認知度向上に寄与する。

| 事業計画 | 主な行動指針 | 事業結果 |
|---|---|--|
| <p>(1) 歯科経営</p> <p>歯科経営アンケートの集計結果を用い、コンサルタントによる分析を加えた歯科経営指標を作成し発表する。公開研修「歯科医院経営基本講座」を開催する。また、歯科経営分野に特化した医業経営コンサルタント養成カリキュラムと体制づくりについて検討し、「歯科経営専修講座」を実施する。</p> | <p>①歯科経営指標を基盤とする書籍の発行</p> <p>②歯科医院経営基本講座の開催</p> <p>③歯科経営専修講座の開催</p> | <p>①「386 歯科医院の統計データから見える成功医院のセオリー」の出版を行った。</p> <p>②歯科経営基本講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義収録後、DVD化を行い、販売を行った。 <p>会員 26 件 一般 43 件</p> <p>歯科経営専修講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 10/23（東京）16名 10/24（東京）17名 ・第2回 11/7（東京）18名 11/8（東京）16名 |
| <p>(2) 税制</p> <p>医療・保健・介護・福祉に関する税制の諸問題について調査研究し、医業の社会公共性を経営面から支援するための提言を行う。</p> | <p>提言発表</p> | <p>「医療機関等における税制の在り方に関する提言－充実した医療・介護提供体制の確立と医療機関等の経営安定化のために－」を作成し、発表した。</p> |
| <p>(3) 情報活用</p> <p>厚生行政の動向等多岐にわたる情報を収集し、医業経営コンサルテーションに活用できる情報を取りまとめ、会員に提供する。</p> <p>また、会員相互情報交換による有効な情報収集体制を構築するとともに、有益な情報利活用事例を募集、提</p> | <p>①情報活用コンペティションの実施</p> <p>②Webセミナーの公開</p> | <p>①今回は情報活用コンペティションを一般及び会員を対象に実施し、優秀賞を会員専用ページにて公開した。</p> <p>②医療に関する様々な情報提供媒体としてWebセミナー動画を製作した。会員限定の動画を基本とし、協会の認知度向上を目的</p> |

| | | |
|--|---|---|
| <p>供するためにコンペティションの実施について取り組む。情報提供ウェブセミナーを継続的に実施する。協会から発信する様々な情報が会員に十分周知されるような手法について検討する。ビッグデータの利活用や災害時の医療情報システムに関するBCPなどニーズに応じて調査研究する。</p> <p>(4) 在宅医療・介護事業経営地域包括ケアシステムにおける医療と介護の連携や事業形成に関する指導可能なコンサルタント養成を見据え、医業経営コンサルタントとして必要な介護事業経営に関する情報を収集し、ホームページや研修会等を通じて会員に情報提供する。</p> <p>また、在宅医療の構造と課題を整理し、コンサルティングに役立つツール作成について検討する。</p> | <p>③情報リテラシー向上研修の開催</p> <p>会員向け介護サービス別収支計算シミュレーションツールの作成</p> | <p>とした動画も製作し、一般公開した。</p> <p>③厚生労働省等で公開されている医療関連情報・ビッグデータをテーマに情報活用手法を基礎から学ぶ研修を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 10/28 36名 ・第2回 11/9 43名 ・第3回 11/25 41名 ・第4回 12/2 34名 <p>会員への情報提供の一環として作成をしており、より簡易にシミュレーションができるよう、介護報酬改定後の次年度に公開を行う。</p> |
|--|---|---|

2 提言活動（調査研究・提言委員会）

| 事業計画 | 主な行動指針 | 事業結果 |
|---|-------------|--|
| <p>調査研究活動の結果、諸官庁、関係諸団体、会員などに広く発信することが必要であると認められた事象について、提言活動を行う。</p> | <p>提言発表</p> | <p>税制専門分科会の検討結果を令和2年12月11日、「医療機関等における税制のあり方に関する提言－充実した医療・介護提供体制の確立と医療機関等の経営安定化のために－」として発表した。</p> |

V 相談・助言事業

1 医療勤務環境改善支援（事業連携推進室）

| 事業計画 | 主な行動指針 | 事業結果 |
|---|---|---|
| <p>医療勤務環境改善支援の取り組みについて、行政、医療関連団体との連携を強化し、普及充実のための支援活動を推進する。医業経営アドバイザーの派遣業務を支援し、会員に対して各種研修を実施する。</p> <p>また、一部の都道府県で実施しているアンケート調査の全国展開について検討し、ベンチマークデータの構築によって医療勤務環境改善支援の取り組みの活性化を図る。</p> | <p>①事業連携推進室会議の開催</p> <p>②医療勤務環境改善支援センター支援</p> | <p>①令和2年6月、10月、12月、令和3年2月の4回開催した。</p> <p>また、令和3年3月に各支部の勤務環境改善担当者による全国担当者会議を行った。</p> <p>②医業経営アドバイザーとして医業経営コンサルタントを派遣し、医療機関の訪問支援等を行った。医療勤務環境改善支援センターで実施実績がある職員アンケート調査についてベンチマーク資料を作成した。</p> <p>各都道府県の医療勤務環境改善支援センターの体制と活動状況についての実態調査を行った。医業経営アドバイザー育成研修を開始した。</p> |

2 持分なし医療法人移行（調査研究・提言委員会）

| 事業計画 | 主な行動指針 | 事業結果 |
|---|----------------|--|
| <p>持分なし医療法人移行相談窓口業務の質の向上と維持に努める。会員の質の担保に資する研修および医療機関に対する公正中立な情報提供の場としての研修会を実施する。</p> <p>また、相談窓口の普及に努める。</p> | <p>相談窓口の設置</p> | <p>持分なし医療法人移行相談窓口を協会ホームページ内に設置し、相談対応可能な医業経営コンサルタントを登録している。</p> <p>令和2年4月～令和3年3月までの協会本部に寄せられた相談件数 25件</p> |

VI 共 通

1 機関誌 JAHMC（広報委員会）

| 事業計画 | 主な行動指針 | 事業結果 |
|---|--|---|
| <p>医業経営に関する情報を掲載した「機関誌 JAHMC（ジャーマック）」を毎月発行する。その内容は、医療現場や医療政策に携わる人の生の声を綴ったインタビューや、各現場や支部広報連絡員との連携によるレポート、医業経営の知識など、医業経営コンサルタントが活動するために必要な情報を集約したものである。</p> <p>また、機関誌 JAHMC の配布基準に沿った配布を実施し、協会事業の周知につなげる。</p> | <p>①機関誌 JAHMC 編集会議にて、協会会員および医療機関に向けた医業経営の情報誌として製作し、配布する。</p> <p>②会員や読者のニーズに見合った記事の掲載を行うための改善を行う。</p> <p>③ JAHMC 機関誌賞選定</p> | <p>①発行部数（月平均）約 5,000 部</p> <p>【内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協会会員 約 3,000 部 ・広報活動配布 約 450 部 ・定期購読 約 50 部 ・関連団体、関係者等 約 1,500 部 <p>②編集体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機関誌 JAHMC 編集会議が主体となって企画構成を立てて編集を行った。支部広報連絡員との連携では「医業経営の現場から」（76 回掲載）、支部の情報発信として「支部だより ホットLINE」（46 回で連載終了）を実施した。 <p>また、支部広報連絡会議の開催によって読者ニーズを探り、誌面への反映を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機関誌 JAHMC の配布基準に沿った協会運営・事業の理解を広げることを目的として、公的機関（都道府県看護協会、薬剤師会や社労士会連合会など）への配布を継続している。 <p>また、支部内における新規配布先の拡大や既存配布先の情報提供を各支部へ協力依頼し効果的な配布を実施した。</p> <p>③ JAHMC 機関誌賞について、投稿記事を対象として、読者モニタリング調査結果に基づき、機関誌 JAHMC 編集会議での審議によって選定した。</p> <p>【受賞者】 黒木 春郎 氏 （令和 2 年 11 月号） 「オンライン診療の現状と課題」</p> |

2 事業承継業務連携（事業連携推進室）

| 事業計画 | 主な行動指針 | 事業結果 |
|--|-------------------------|--------------------------------------|
| 病院または診療所の事業承継について、会員間の連携による医療機関支援の仕組みづくりについて検討する。前年度実施したアンケート調査を進展させ、事業承継に関するデータ作成に取り組む。 | 事業承継を行う際に使用する手引書作成を目指す。 | 多様な承継事業に対応するため、次年度も引き続き手引書等の作成作業を行う。 |

(共益事業等)

1 総務（総務委員会）

| 事業計画 | 主な行動指針 | 事業結果 |
|--|---|--|
| (1) 協会のさらなる健全・安定的発展を図るため、組織基盤強化について検討する。 | ① 会員の定着と増強を図るための情報収集を行い、他委員会と連携して、施策等について検討する。 ② 本協会活動に関連する諸団体との連携を強化し、諸事業を行うための情報収集を行い、施策等について検討する。 | ① 実態に即した規定の整理・見直しを行うため、各委員会等から挙げられた現行の規定に係る問題点等について検討し、規定の改定を行った。あわせて、休止者・退会者の条件等について検討を行った。 ② 他団体との連携について検討を行った。 |
| (2) 会員の資格審査および会員等の綱紀監察に係る情報収集・管理を実施する。 | ① 入会および会員休止に係る審査を実施する。 ② 会員等の綱紀監察に係る情報収集・管理を支部と一体となってい、その情報を共有する。 | ① 入会数 個人正会員 132名 法人正会員 0法人 賛助会員 0法人 (会員休止申請数) 個人正会員 111名 (延べ人数) ② 綱紀監察事案はなかった。 |
| (3) 賛助会員に係る諸規程の整備を行う。 | | ① 賛助会員から挙げられた要望等に基づき対応を検討し、令和3年度より「賛助会員への講師の無料派遣」および「賛助会員へのDVD無料貸出し」の追加対応を行うことを決定した。あわせて、関係規則および制度の改定を行った。 |
| (4) その他、他の委員会の所 | | ① 令和元年7月に「税額控除に係 |

| | | |
|--------------------------|--|--|
| <p>管に属さない事項について検討する。</p> | | <p>る証明書」を取得したことを受け、税額控除に該当する寄附金団体としての認定の継続および寄附金促進のため、各地区別・年度別の寄附金目標件数を設定した。</p> <p>また、会費請求書に依頼文の同封、口座振替を利用した案内および支部へのパンフレット送付等により、協力依頼を行った。</p> <p>(令和2年度 計60件)</p> <p>②令和2年5月から7月の豪雨に伴う見舞金の申請について、審査を行った。</p> <p>③永年会員表彰候補者(48名)を調査のうえ理事会に報告、承認された。新型コロナウイルス感染症の予防対策から令和2年6月定時総会での授賞式は中止としたが、表彰者の発表を行った。</p> <p>④功績表彰候補者(13名)を調査のうえ理事会に報告、承認された。令和3年3月臨時総会時に授賞式を行った。</p> |
|--------------------------|--|--|

令和2年度個人正会員の推移

| 年月 | 前月会員数 | 当月入会数 | 前月退会数 | 当月 資格喪失 | 当月会員数 | 休止者 |
|-------|-------|-------|-------|------------|-------|-----|
| 2年4月 | 2,901 | 97 | 90 | 10 | 2,898 | 109 |
| 2年5月 | 2,898 | 1 | 1 | - | 2,898 | 109 |
| 2年6月 | 2,898 | 1 | 8 | - | 2,891 | 109 |
| 2年7月 | 2,891 | 1 | 13 | - | 2,879 | 109 |
| 2年8月 | 2,879 | - | 6 | - | 2,873 | 109 |
| 2年9月 | 2,873 | - | 2 | - | 2,871 | 109 |
| 2年10月 | 2,871 | 31 | 33 | 10 | 2,859 | 109 |

| | | | | | | |
|-------|-------|-----|-----|----|-------|-----|
| 2年11月 | 2,859 | - | 7 | - | 2,852 | 111 |
| 2年12月 | 2,852 | - | 5 | - | 2,847 | 108 |
| 3年1月 | 2,847 | - | 3 | - | 2,844 | 111 |
| 3年2月 | 2,844 | 1 | 6 | - | 2,839 | 109 |
| 3年3月 | 2,839 | - | 5 | - | 2,834 | 109 |
| 2年度計 | - | 132 | 179 | 20 | - | - |

2 支部との連携（地区協議会、業務執行会議）

| 事業計画 | 主な行動指針 | 事業結果 |
|--|---|--|
| <p>(1) 支部および地区協議会の活動支援</p> <p>支部および地区協議会と積極的に意見交換等の機会を設け、抱える課題について共有し、より良い活動ができるよう支援する。具体的な研修開催支援の施策について検討・提案し、支部および地区協議会の活動を支援する。</p> | <p>支部・地区協議会への支援</p> | <p>地区協議会が中心となって、各支部における取り組みを支援した。</p> |
| <p>(2) 地区協議会および地区協議会代表連絡会の開催</p> <p>地区協議会および各支部が抱える課題の解決に取り組む、事業計画に基づく活動を支援する。</p> <p>また、支部の相互支援による活動を強化し、合同研修等の開催を推進する。</p> | <p>地区協議会および地区協議会代表連絡会、地区協議会代表研修会の開催支援・合同研修等の開催支援・課題解決に向けた検討</p> | <p>各地区協議会に担当副会長が出席し、地区協議会、支部と本部との調整と支援をした。</p> |
| <p>(3) 支部活動費補助の促進</p> <p>支部活動の活性化のため、支部活動費補助の活用を促進し、支部が主体的に行う教育研修活動、調査研究活動および地域</p> | <p>支部活動費補助の交付申請審議および活用促進</p> | <p>14支部17件の医業経営セミナー・地区合同研修・ホームページ作成・報知費用等の活動補助交付申請を審議した。</p> |

| | | |
|---|------------------|--|
| <p>の医療関係団体等への報知活動等を支援する。</p> <p>(4) 全国支部長会の開催 全国支部長会を開催し、協会の業務執行の連絡調整と支部の連携強化を推進する。</p> | <p>全国支部長会の開催</p> | <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、感染拡大防止のためウェブを活用して実施した。</p> |
|---|------------------|--|

支部活動費補助（合計円）申請順

| | | | | | | | |
|-----|-----|----------|-------------|----|------|----------|---------|
| 1 | 広島県 | 医業経営セミナー | 77,795 | 10 | 神奈川県 | 医業経営セミナー | 2,000 |
| 2 | 奈良県 | 報知活動 | 132,000 | 11 | 広島県 | 会員情報提供活動 | 76,210 |
| 3 | 北海道 | 医業経営セミナー | 528,808 | 12 | 沖縄県 | 医業経営セミナー | 81,903 |
| 4 | 秋田県 | 医業経営セミナー | 570,000 | 13 | 神奈川県 | 報知活動 | 80,000 |
| 5 | 埼玉県 | 医業経営セミナー | 32,300 | 14 | 岩手県 | 医業経営セミナー | 390,544 |
| 6 | 福井県 | 報知活動 | 55,000 | 15 | 福島県 | 医業経営セミナー | 441,129 |
| 7 | 大分県 | 報知活動 | 200,000 | 16 | 岐阜県 | 医業経営セミナー | 136,396 |
| 8 | 宮崎県 | 報知活動 | 55,000 | 17 | 沖縄県 | 医業経営セミナー | 98,880 |
| 9 | 東京都 | 医業経営セミナー | 902,460 | | | | |
| 合 計 | | | 3,860,425 円 | | | | |

3 教育研修（教育研修委員会）

| 事業計画 | 主な行動指針 | 事業結果 |
|--|---|--|
| <p>(1) 支部および継続研修委託団体が実施する継続研修の申請を承認する。</p> | <p>① 申請内容が、医業経営コンサルタントに必要とされる内容であり、かつ会員のニーズ等に見合った内容であるかを審査する。</p> <p>② 支部および継続研修委託団体において、会員の受講管理が行われているかを確認</p> | <p>① 計 12 回の委員会および計 1 回の書面審議において、次のとおり承認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続研修委託団体 10 団体中 5 団体が継続研修の実施を申請し、承認した。(延 66.5 時間) ・ 46 支部中 12 支部が、支部ビデオ研修の実施を申請し、承認した。(延 68 時間) ・ 46 支部中 19 支部が、支部通常研修の実施を申請し、承認した。(延 103.5 時間) <p>② 継続研修受講管理システムを利用し、会員の履修登録を速やかに実施できるよう指導援助し</p> |

| | | |
|--|--|--|
| <p>(2)外部団体主催の学会・研修会（セミナー）等を、継続研修区分の履修認定学会等として検討し、承認する。</p> | <p>する。 地域で実施される外部団体主催のセミナー等について、支部等から申請があった場合、その内容を審査する。</p> | <p>た。 NPO 内部統制評価機構主催各種セミナー（東京およびWeb、計40時間）、鹿児島県医療法人協会研修会（鹿児島、2時間）、第2回・第7回医療と介護の総合展（東京および大阪、計4時間）日本医療法人協会介護報酬説明会（Web、2時間）をそれぞれ当年度の履修認定学会等として承認した。 ※(1)、(2)ともに、承認後に中止となったものも含む。</p> |
|--|--|--|

4 相談業務等（調査研究・提言委員会）

| 事業計画 | 主な行動指針 | 事業結果 |
|---|--------------------------------------|--|
| <p>(1)会員向けに、医業経営相談室事業を推進する。</p> <p>(2)会員を医療機関等に紹介する事業（医業経営コンサルナビ）を推進する。</p> <p>(3)従前取り組んできた医業経営指標等に関連した研修活動について検討し、必要に応じて教育研修委員会等に提案する。</p> <p>(4)医業経営コンサルタントが必要とするコンサルティングツールや調査研究テーマ等のニーズを調査し、求められた活動の実現について検討する。</p> | <p>会員からの医業経営相談について、医業経営相談室で回答する。</p> | <p>会員からの医業経営相談について、医業経営相談室で回答した。 回答件数：63件</p> <p>医業経営コンサルナビと会員事業連携ネットワークの統合を行う特別委員会に業務移行を行った。</p> <p>新入会員向けの新たな書籍発行を目指し、専門分科会が設置された。</p> |

5 広報活動（広報委員会）

| 事業計画 | 主な行動指針 | 事業結果 |
|---|---|--|
| <p>(1) 協会事業を各方面に報知し、医業経営コンサルタントの公共性の高さの理解を広めることで、その活動範囲の拡大を支援する。</p> | <p>医療関連団体が主催する学会においてセミナーを実施し、当協会会員の活動について広報活動を行う。</p> | <p>新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止・延期となった。</p> |
| <p>(2) 広報活動は、機関誌や関係団体学会への参加など、従来からの広報手段に加えて戦略的広報の見地から、報道機関への情報提供、雑誌への広告掲載などの新たな効果的手段を実施し、広く一般社会に協会事業の周知を行う。</p> | <p>報道機関や医療関連情報誌への情報提供によって、協会事業を告知する。</p> | <p>医療機関等における税制のあり方に関する提言をまとめ、記者発表を行い（令和2年12月11日）、報道各社にて掲載（MEDIA F A X、病院新聞、社会保険旬報、高齢者住宅新聞等）された。</p> |
| <p>(3) 協会ホームページや電子メディア等のIT技術を活用し、協会事業の周知を行う。 また、医業経営コンサルタントの活動に必要な情報共有を推進する。</p> | <p>協会ホームページ内の情報を充実させ、協会事業の情報提供を推進する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・機関誌 J A H M C の電子書籍による一般向け販売を継続 ・協会公式 Facebook による情報発信を継続 ・協会ホームページの利便性のさらなる向上を目的に、ホームページの改訂に関する検討を行った。 |

6 財務（財務委員会）

| 事業計画 | 主な行動指針 | 事業結果 |
|---|---|--|
| (1) 中長期計画に基づき、協会運営の健全化を検討する。 | 業務執行会議が提示する中長期計画に基づき、財務面からの重点項目、正味財産の推移等を確認するとともに、健全な運営のあり方について検討する。 | ①令和元年度決算内容の確認と分析を行った。 ②令和2年度の本部・地区協議会・支部に関する各事業活動の予算執行状況を、四半期毎に確認し、財務状況分析を行い、理事会に報告した。 |
| (2) 令和3年度予算編成基準の作成および四半期毎令和2年度予算執行状況の確認をする。 | 令和3年度予算編成基準を作成し、地区協議会、本部委員会等の予算案が予算編成基準に基づいて作成されているか確認するとともに、事業の適正化、予算の効率的な執行を図るため、予算執行状況を四半期ごとに確認する。 | ①(1)での財務分析結果を踏まえ、「令和3年度予算編成基準」を策定した。 ②「中期的な財政状況に関する財務委員会意見」として、各事業活動に関する課題や問題点の改善案をまとめ、第220回定例理事会（令和2年10月8日開催）に上程し、承認された。 |
| (3) 財務状況についての分析と、各委員会および理事会へ提案する。 | 各事業活動の財務状況の分析を行い、改善点等について議論し、財務委員会の提案として各委員会および理事会に提示する。 | 会員数の推移等のデータを基に財務シミュレーションを行い、「財務シミュレーション報告」および「財務シミュレーション報告に係る財務委員会提言について」をまとめ、第10回業務執行会議（令和3年3月19日開催）に上程した。 |

7 国際（国際委員会）

| 事業計画 | 主な行動指針 | 事業結果 |
|--|--|--|
| 協会規程に定められている当委員会の活動内容を基に、令和2年度の重点施策である「医業経営の国際化に対応した調査・視察・研究および人材育成に取り組む」に努め | (1) 委員会および協会の国際活動に関するレベルアップを睨み、当委員会の3年間のインバウンドに関する活動の成果を踏まえた、海外の制度を含む医 | ①以下の研修を実施した。 医業経営セミナー（アルカディア市ヶ谷） 令和3年1月29日 履修認定2時間 「令和元年度 タイ病医院経営・ |

| | | |
|--|---|---|
| <p>る。</p> <p>また、協会の国際活動の将来構想について検討を進め、活動を行う。</p> | <p>療事情に関する情報・事例を小冊子にまとめ、会員および一般向けに報告する。(医業経営セミナー 令和3年2月/国内)</p> <p>(2) インバウンド対応を行っている医療機関の視察研修を実施する。(令和2年9月/国内)</p> <p>(3) 行政、医療関連団体等の国際的な活動についての情報を収集する。</p> | <p>管理研修報告」参加者70名 (内訳：会員63名、委員・会員紹介7名)</p> <p>また、小冊子については令和3年6月発行予定として作成を開始した。</p> <p>②国内視察研修は、新型コロナウイルス感染拡大による社会情勢を踏まえ、中止した。</p> <p>③海外視察研修の訪問先として決定したトルコ共和国の情報(行政・医療関連施設等)を収集した。</p> |
|--|---|---|

特別委員会

大学院との連携準備特別委員会

| 事業計画 | 主な行動指針 | 事業結果 |
|--|------------------|---|
| 協会の認知度向上や会員数増加を目指す新たな事業を構築するため、大学院の推薦枠に関する検討を行う。 | 大学院の推薦枠について検討する。 | 2回にわたる委員会を開催した。 大学院特別入試の公募推薦、選抜・選考要領の検討を行った。 公募推薦の選抜・選考要領に基づき選抜・選考審査を行い、推薦者を確定し、大学院へ推薦書を提出した。 |

創立 30 周年記念誌作成特別委員会

| 事業計画 | 主な行動指針 | 事業結果 |
|---|---|--|
| 創立 30 周年にあたり、創立 30 周年記念式典の実施（令和 2 年 11 月）および記念誌等の作成を行う。 | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、協会創立 30 周年記念事業を中止したが、令和元年度の 30 周年記念事業準備委員会において企画していた内容を基に、改めて 30 周年記念事業に関連した座談会、あゆみや協会の変遷等、必要な事項を検討し、記念誌として取りまとめる。 | 4回にわたる委員会を開催した。 前回作成した 25 周年記念誌と 30 周年記念事業準備委員会での検討内容をもとに 30 周年記念誌の内容を検討し、関連団体・国会議員・地区協議会・各会員からの寄稿とこれまでの協会活動に関連する各資料等を掲載した記念誌を令和 3 年 3 月に 3,600 部作成した。 作成した記念誌を当協会会員や記念誌寄稿者、国会議員・厚生労働省および関係団体等に約 3,300 部配布のうえ、協会ホームページに記念誌と補足資料の PDF データを掲載した。 |

過去問題検討特別委員会

| 事業計画 | 主な行動指針 | 事業結果 |
|------------------------------|--|---|
| 令和 2 年 1 月第 213 回理事会において設置承認 | これまで非公開であった一次試験の問題について、受験者の学習便宜をはかり受験意欲の向上を目指すため、一次試験の過去問題集の作成を検討する。 | 7回にわたる委員会を開催し、問題および選択肢の確認、検証を行い、抜粋された問答に解説を付記する内容として発行する準備を行った。 |

リスクマネジメントプログラム検討特別委員会

| 事業計画 | 主な行動指針 | 事業結果 |
|------------------------|--|---|
| 令和2年3月第215回理事会において設置承認 | 医療機関の内部統制や内部監査体制の構築に資する人材育成を行うため、専門的な研修プログラムを検討する。 | 8回にわたる委員会を開催し、人材育成に必要なプログラムを検討した。次年度は病院事業評価特別委員会に名称を変更して継続検討する。 |

ウィズコロナ・医業経営支援特別委員会

| 事業計画 | 主な行動指針 | 事業結果 |
|------------------------|---|--|
| 令和2年7月第218回理事会において設置承認 | 新型コロナウイルス感染症により医業収益等の減少等大きな影響が出ている医療機関を支援すべく協会ならではの提言を発表する。 | 6回にわたる委員会を開催し、国・行政への提言や財務分析について検討し、中間報告を取りまとめた。次年度も継続して検討し、最終的に提言書を取りまとめる。 |

医コンキョウドウ特別委員会

| 事業計画 | 主な行動指針 | 事業結果 |
|-------------------------|----------------------------|---|
| 令和2年10月第220回理事会において設置承認 | 会員事業連携ネットワークと医業経営コンサルナビの統合 | 5回にわたる委員会を開催し、新たなシステム作成について検討した。令和3年5月下旬に稼働を予定する。 |

令和2年度審査会および委員会開催状況

令和3年3月31日現在

| 審査会 | 審査会名 | 会長 | 副会長 | 委員 | | | | | | | | | | 開催回数 |
|--------------------------|------------------------|------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|-------|------|------|--------|--------|
| | 医療経営コンサルタント 資格認定審査会 | 岩崎 榮 | 河口 豊 | 尾形裕也 | 中山茂樹 | 美原 盤 | 橋本 省 | 菅間 博 | 秋山智弥 | 濱 昌代 | 岩下 覚 | 万代恭嗣 | 川渕孝一 | 2回 |
| | | | | 今井正次 | 佐久間賢一 | 櫻井俊男 | 福田昭一 | 梅田昭彦 | 木村泰久 | 松田紘一郎 | 竹田 秀 | 高橋雷太 | 高橋 淳 | 小委員会4回 |
| | 二次試験(論文)審査委員 | | | 宮原勲治 | | | | | | | | | | |
| | | | 青地記代子 | 伊藤哲雄 | 薄井照人 | 小野瀬由一 | 相楽行孝 | 鈴木竹仁 | 田中幹夫 | 藤中秀樹 | 眞鍋 一 | 丸山定夫 | 論文審査2回 | |
| 一次試験(マークシート方式)問題作成検討小委員会 | | | 美留町利朗 | | | | | | | | | | | |
| | 委員長 | 副委員長 | 委員 | | | | | | | | | | | |
| 網紀監察審査会 | 岩崎 榮 | 河口 豊 | 梅田昭彦 | 櫻井俊男 | 竹田秀 | 中山茂樹 | 福田昭一 | 宮原勲治 | | | | | 3回 | |
| | 伊藤一章 | | 佐藤仁良 | 佐久間賢一 | 櫻井俊男 | 梅田昭彦 | | | | | | | - | |

| 常任委員会・専門分科会 | 委員会名 | 担当副会長・理事 | 委員長 | 委員 | | | | | | | | | | 開催回数 |
|-------------|-------------------|----------|------|-------|-------|-------|---------|-------|------|------|------|--|--|------|
| | 総務委員会 | 伊藤哲雄 | 梅田昭彦 | 渡辺一郎 | 小川敏治 | 小山正治 | 笹川正子 | 原子修司 | 森田幸弘 | 吉田和美 | | | | 4回 |
| | 教育研修委員会 | 佐久間賢一 | 西山信之 | 小野瀬由一 | 北島亜紀 | 綱島英俊 | 道下洋夫 | 三村和正 | | | | | | 12回 |
| | 継続研修部会 | | 西山信之 | 永山正人 | 佐久間賢一 | | | | | | | | | - |
| | 公益研修部会 医療経営管理能力検定 | | 河口 豊 | 西山信之 | 田中律子 | 寺崎 仁 | 福田昭一 | 眞鍋 一 | 山田康夫 | | | | | 7回 |
| | 広報委員会 | 櫻井俊男 | 川原丈貴 | 中沢和広 | 三好章樹 | 古澤久志 | 川本一男 | 赤松和弘 | 藤井康彦 | 河野展久 | | | | 4回 |
| | 機関誌JAHMC編集会議 | 竹内与志夫 | 高橋雷太 | 田中一夫 | 小野洋子 | 佐藤由巳子 | 高木安雄 | 富井淑夫 | 広多 勤 | 尾形裕也 | | | | 5回 |
| | 調査研究・提言委員会 | 根本清規 | 木村泰久 | 細谷邦夫 | 笠田圭介 | 鈴木竹仁 | 谷進二 | 野中康弘 | 政木和夫 | 宮原勲治 | 森田仁計 | | | 3回 |
| | 歯科経営専門分科会 | | 清水正路 | 角田祥子 | 塩田龍海 | 鈴木竹仁 | 住友麻優子 | 恒石美登里 | | | | | | 4回 |
| | 税制専門分科会 | | 青木憲一 | 石井孝宜 | 政木和夫 | 竹田 秀 | 船本智睦 | | | | | | | 3回 |
| | 情報活用専門分科会 | | 宮原勲治 | 杉原博司 | 小塩誠 | 藤森研司 | 石ノ森ジョシエ | | | | | | | 6回 |
| | 在宅医療・介護事業 経営専門分科会 | | 渡辺尚浩 | 園田直則 | 笠田圭介 | 近藤正史 | 田中大悟 | | | | | | | 4回 |
| | 診療所専門分科会 | | 細谷邦夫 | 三浦康弘 | 鈴木竹仁 | 六谷秀生 | | | | | | | | 3回 |
| | 学会・学術委員会 | 櫻井俊男 | 福田昭一 | 菅原 治 | 嶋野明正 | 芦川幸生 | 内藤啓志 | 平井政規 | 大山恭治 | 狩俣一郎 | | | | 4回 |
| | 財務委員会 | 伊藤哲雄 | 飛田勝弘 | 竹田 秀 | 齋藤勝美 | 田中 仁 | 谷 幹夫 | 中田耕司 | 小林智之 | | | | | 5回 |
| | 利益相反等管理委員会 | | 伊藤一章 | 佐藤仁良 | 佐久間賢一 | 櫻井俊男 | 梅田昭彦 | | | | | | | - |
| | 国際委員会 | 根本清規 | 井上陽介 | 高梨智弘 | 三原一訓 | 杉原博司 | 関丈太郎 | 尊田京子 | 中山茂樹 | | | | | 5回 |

| 委員会名 | 室長 | 室員 | | | | | | | | | | | 開催回数 |
|---------|------|------|------|------|------|------|--|--|--|--|--|--|------|
| 事業連携推進室 | 眞鍋 一 | 一色美敏 | 澁谷辰吉 | 藤鬼洋次 | 原子修司 | 酒井一博 | | | | | | | 4回 |

| 特別委員会名 | 委員長 | 委員 | | | オブザーバー | | | | | | | | 開催回数 |
|----------------|------|-------|-------|------|--------|--|--|--|--|--|--|--|------|
| 大学院との連携準備特別委員会 | 西山信之 | 小野瀬由一 | 佐久間賢一 | 白木秀典 | 永山正人 | | | | | | | | 2回 |

| 特別委員会名 | 担当副会長 | 委員長 | 委員 | | | | | | | | | | 開催回数 |
|------------------|-------|------|------|-------|------|--|--|--|--|--|--|--|------|
| 創立30周年記念誌作成特別委員会 | 根本清規 | 高橋洋子 | 齋藤勝美 | 佐藤由巳子 | 柳 雅夫 | | | | | | | | 4回 |

| 特別委員会名 | 委員長 | 副委員長 | 委員 | | | | | オブザーバー | オブザーバー | | | | 開催回数 |
|-------------|------|------|------|------|------|------|------|--------|--------|--|--|--|------|
| 過去問題検討特別委員会 | 宮原勲治 | 高橋雷太 | 澁谷辰吉 | 中山茂樹 | 原子修司 | 三原一訓 | 森田仁計 | 岩崎 榮 | 河口 豊 | | | | 7回 |

| 特別委員会名 | 委員長 | 委員 | | | | | | | | | | | 開催回数 |
|-----------------------|------|------|------|------|-----|------|------|------|--|--|--|--|------|
| リスクマネジメントプログラム検討特別委員会 | 尊田京子 | 伊藤哲雄 | 佐名憲明 | 杉本俊夫 | 柳雅夫 | 黄野吉博 | 庄司敏浩 | 小山信彌 | | | | | 8回 |

| 特別委員会名 | 委員長 | 委員 | | | | | | オブザーバー | | | | | 開催回数 |
|--------------------|------|------|------|-------|------|------|------|--------|--|--|--|--|------|
| ウィズコロナ・医療経営支援特別委員会 | 伊藤哲雄 | 万代恭嗣 | 杉原博司 | 竹内与志夫 | 三原一訓 | 石川光一 | 村上正泰 | 宮原勲治 | | | | | 6回 |

| 特別委員会名 | 担当副会長 | 委員長 | 委員 | | | | | | | | | | 開催回数 |
|---------------|-------|------|------|------|------|------|--|--|--|--|--|--|------|
| 医コンキョウドウ特別委員会 | 佐久間賢一 | 原子修司 | 赤松和弘 | 芦川幸生 | 三村和正 | 森田仁計 | | | | | | | 5回 |